

バーチャル 見学ツアー VIRTUAL VISIT



科学技術館 クスリウム

新しいくすりはどうやって開発される？
くすりのいろいろ、学びにいろいろ！

ダミーコピーです。オフセット輪転機の増加は、1986年に年間62台だったものが、87年で一挙に3倍の186台になり、翌年には、210台とさらに伸び、89年には前述のように2年連続で200台を超す勢いとなった。印刷工場やオフセット輪転機がここ数年の間に増え、制作工程の革新が進んできた背景には、より鮮度の高い情報や紙面品質の向上に対する読者や広告主ニーズの高まりが上

げられる。かつて、新聞の制作工程は、読者が書いた原稿を活字組みにして、紙型をとり、鉛の合金をこれに流し込んで刷版とし、この鉛でできた「重い刷版を凸版輪転機にセットして、ようやく印刷に入るといのように、何段階ものステップを踏み、多くの人手をから80年代に至って、新しい技術にとって多くの人手を介在させるもの新聞制作のCTS化である。

PC・スマホ・VRゴーグルなど様々なデバイスからアクセス可能！ 詳しくは
<https://www.asahi.com/ads/virtual/>

